

# 各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

1 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	国語
グループ名、人数		4グループ 11名		担当教員	◎日下、川井、唐澤
ねらい		(1) 国語の知識や技能を身に付け、言語文化に親しむ。 (2) 関わりの中で伝え合う力を高め、思いや考えをまとめる力を養う。			
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための国語 (日本教育研究出版)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	読み書き 聞き取り 話す 読書	通年   15	○平仮名、カタカナ、漢字の語句を読む・書く。 ▲手本を参考に、文字の形を整え、丁寧に書こうとすることができたか。  ○自分で本を選び、読む。 ▲読書を通して、興味・関心を広げることができたか。	・実態に応じて身近な言葉や語句を取り入れる。 ・ICT機器を活用し、課題の提示の仕方を工夫する。 ・ワークシートを用意し、読んだ本を紹介し合う活動を取り入れる。	
4	挨拶 自己紹介	5	○自分について表現する。 ▲自分自身について考え、表現できたか。	・伝える内容や項目を提示する。	
5	名前を書く	5	○縦書き・横書きなど、様々な様式に合わせて書く。 ▲丁寧に書くことができたか。	・ワークシート、ホワイトボードなど、様々な様式を用意する。	
6	短い文を読む	5	○短い文を読む。 ▲声の強弱や速さを工夫して読めたか。	・文の内容に合うイラストや写真などを提示する。	
7	本の紹介	5	○本を読み、紹介したい本を選ぶ。 ▲紹介したい本を選ぶことができたか。	・校内の図書館や図書コーナーを利用する。	
9	本の紹介 POP作り	5	○おすすめの本の紹介POPを作る。 ▲題名や内容を書くことができたか。	・POPの作品例を提示する。	
10	物語を読む	5	○登場人物を意識して読む。 ▲登場人物が分かったか。	・絵カードやワークシートを用意し、主な登場人物を整理する。	
11	脚本を読む	5	○登場人物をイメージしての台詞を読む。 ▲声の大きさに気を付けて読むことができたか。	・登場人物を分担し、ロールプレイを行う。	
12	書写	5	○毛筆で書く、伝統文化に親しむ。 ▲形を捉えながら書くことができたか。	・基本的な筆の扱い方や持ち方を確認する。	
1	敬語	5	○丁寧な言葉で話したり書いたりする。 ▲場面や相手を考えて、丁寧な言葉で話したり書いたりすることができたか。	・就業体験などの場面を想定した会話のやりとりを行う。	
2	かるた	5	○よく聞いて、正しい札を取る。 ▲聞いた言葉に合ったカードを正しく選ぶことができたか。	・ルールを確認し、楽しく取り組めるようにする。	
3	手紙を書く	5	○お世話になった人へ手紙を書く。 ▲自分なりの言葉で伝えたり、書いたりすることができたか。	・お世話になった人とのエピソードや文例を提示する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	社会
グループ名、人数		4グループ 11名	担当教員	◎渡邊 木村	
ねらい	<p>(1) 我が国の国土の様子と国民生活、自然環境の特色、先人の業績や優れた文化遺産、社会参加するためのきまり、公共施設の役割と制度について、様々な資料や具体的な活動をとおして、社会生活との関連を踏まえて理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、自分の生活と結び付けて考える力、社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。</p> <p>(3) 多角的な思考や理解をとおして、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土に対する愛情、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。</p>				
年間授業時数	17 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5	我が国の国土の様子と国民生活、歴史	6	○自分が住む地域 ▲写真を見て建物の名称を答えることができる。	・拡大地図を準備し、建物カードを貼って、確認する。	
6	公共施設の役割と制度	4	○公共施設や公共物等の働き・自分が住む地域 ▲順番を守って改札を通ることができる。	・改札模型で実際にカードをタッチする。	
7	我が国の国土の自然環境と国民生活	3	○自然災害と地域の人の関わり ▲自然災害に風水害があることが分かる。	・マイタイムラインを活用する。	
9	社会参加ときまり	4	○社会生活に必要なきまり ▲年賀状を送る文化や年賀状に書く内容を知り、書くことができる。	・郵便局の働きを確認する。 ・国語の手紙の書き方と連携する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	数学
グループ名、人数	4グループ 11名		担当教員	◎西尾	
ねらい	(1) 日常の事象を数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 (2) 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学（日本教育研究出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	数量の表し方 数と計算 計数 弁別	通年	○整数の表し方を知り、数量の比較や計量をする。 ▲具体物を正しく数えることができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物を教材にし、操作をしながら数量を確認する。</li> <li>・I C T機器を活用する。</li> </ul>	
4 5	量と大きさ	10	○身の回りの具体物について、大きさ、長さ、重さ、かさなどを比較する。 ▲大きい小さい、長い短い、重い軽い、多い少ないなど、数量の比較をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見た目だけで違いが分かる具体物を用意し、実際に比べて確かめられるようにする。</li> <li>・使用上の注意点を示しながら、計量器具の使い方を確認する。</li> </ul>	
6 7 9	図形	20	○円や多角形について、その特徴に注目し、比較しながら名称を理解する。 ▲図形の違いに気付くことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の具体物を用意し、直線、曲線、頂点の数など、図形の特徴に注目できるようにする。</li> <li>・形に注目しながら、紙を折ったり、図形を描いたりする機会を設ける。</li> </ul>	
10 11 12	金銭	20	○硬貨や紙幣の特徴に注目し、種類や名称を理解する。 ▲硬貨や紙幣の種類や名称を知り、金種ごとに分類することができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬貨や紙幣の実物や画像を提示し、特徴を比較できるようにする。</li> <li>・実態に応じて、商品やサービスの値段と支払いの仕方、計算機を用いた複数の品物の合計金額の計算などにも触れる。</li> </ul>	
1 2 3	時刻と時間	20	○時計の時刻を答えたり、アナログ時計を動かして時刻を合わせたりする。 ▲アナログ時計の示す時刻を読むことができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログ時計とデジタル時計を使用し、互換性を理解できるようにする。</li> <li>・時刻と生活を結び付けて考えられるようにする。</li> </ul>	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	理科
グループ名、人数	4グループ 11名		担当教員	◎渡邊 木村	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。				
年間授業時数	18 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
10 11	生物の構造と機能	7	○人の体のつくりと運動 ▲人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解できる。	・体のいろいろな部分を触り、骨や筋肉があることを確認する。 ・保健体育とも合わせて指導する。	
12 1	地球の内部と地表面の変動	4	○地面の傾きによる水の流れ ▲水は高いところから低いところに集まることを理解できる。	・地面が斜めになっている場所で水を流し、観察する。 ・農園芸班の畑や周回路等の地形を利用する。	
2	粒子のもつエネルギー	4	○温度と体積の変化 ▲水は温度によって水蒸気や氷に変化することを理解できる。	・容器に水を入れ、冷凍庫で凍らせて、実験する。 ・家庭科の調理実習等と関連付ける。	
3	エネルギーの変換と保存	3	○磁石の性質 ▲磁石には引き付けられるものと引き付けられないものがあることを理解できる。	・磁石がくっつくものとくっつかないものがあることを実験する。 ・校内を周り、磁石が付くところと付かないところを確認する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	美術
グループ名、人数	3・4グループ 20名		担当教員	◎矢島 作山 島井 川井 根岸	
ねらい	(1) 造形的な視点について気付き、材料や用具の扱い方に親しむとともに、表し方を工夫する技能を身に付けるようにする。 (2) 造形的なよさや面白さ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや思ったこと、材料などを基に、発想し構想するとともに、身近にある造形や作品などから、自分の見方や感じ方を広げることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を営む態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	○作品を展示することなどを通して生活の中で生かす。 ▲作品を介した人と関わりを意識できる。 ○制作成功体験を通して造形活動を楽しみ興味関心を高める。 ▲造形活動に能動的に取り組もうとしている。	・制作を介して人と関わり作品を生かせる場をつくる。 ・繰り返し行える活動にするなど主体的に行えるように工夫する。	
4 5 6 7 9	オリエンテーション コラージュ	4	○簡単な制作を通して安心して活動に取り組み、授業のルールを知る。 ▲制作活動に興味関心をもち活動に参加できる。	・成功体験を通し活動に意欲的に迎えるようにする。	
	デザイン	8	○体育祭のスローガン幕やポスター作り。 ▲適切な道具の使用方法を意識し制作できる。 ▲色を意識し制作できる。	・扱いやすい素材で制作する。 ・制作方法を見本などで分かりやすく提示する。	
	版画技法	14	○色々な版画作り ▲形や色の組み合わせに関心をもつことができる。 ▲色々な素材を版画の材料として制作できることを知る。	・各版画技法を複数回繰り返し、制作内容への見通しをもてるようにする。	
10 11 12	文化祭に向けた 取り組み 立体造形	14	○文化祭舞台道具の制作。 ▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。	・写真などで制作内容が分かりやすいようにする。	
		14	○暮らしを彩る季節の飾り作り。 ▲季節を意識して制作し作品で生活を彩ることができる。	・季節や制作のイメージができる動画などを提示する。	
1 2 3	絵画表現	8	○墨の濃淡による表現 ▲墨の濃淡の違いを体験しながら表現することができる。	・色々な墨で描いた作品の鑑賞を行う。	
	工作	8	○立体物やプラ板などの工作。 ▲素材を変化させられることに興味をもって取り組める。	・扱いやすい素材と道具を用意する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	音楽
グループ名、人数		3・4グループ 21名		担当教員	◎三宅（火、金）：東、品川
ねらい		(1) 音楽表現の技能（歌唱、器楽、身体表現等）を身に付ける。 (2) 音楽の雰囲気や美しさを感じながら、音楽を聴くことができる。 (3) 音楽活動を通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	レッツ・コーラス！「音楽之友社」	
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	発声練習 鑑賞 「生演奏」 共通教材 「日本歌曲」	通年	○姿勢や発声を意識して歌う。 ▲音の高低、リズムの違いに気づき、発声する。 ○我が国や諸外国の様々な音楽に触れ、独自の文化や多種多様性についての理解を深める。 ▲興味関心をもって、意欲的に鑑賞している。	・姿勢や発声について、カードや模唱で提示する。 ・演奏に注目できるように環境を整える。	
4	身体表現	20	○歌詞の内容を感じながら、歌や身体の動きで表現する。 ▲振り付けを覚え、音楽の流れに合わせて身体表現をすることができる。 ○拍を意識して、太鼓をたたく。 ▲基礎的な奏法を覚え、身体全体をしながら演奏できる。 ○手話歌のサインを覚え、歌をサインや歌で表現する。 ▲歌詞を覚え、曲に合わせてサインや歌で表現できる。	・映像の活用や、教員が手本を丁寧に示すなどの支援を行い、イメージをもちやすくする。 ・締太鼓の下打ちで拍を明確に示すことで、リズムを感じて演奏できるよう支援する。 ・正面で手本を示し、部分的に繰り返しながら定着を図る。	
5	器楽 「和太鼓」				
6	歌唱 「校歌」他				
7					
9	器楽 「合奏」	35	○有音程の楽器と合わせて、打楽器等も活用し合奏をする。 ▲合奏の楽しさや達成感を味わう。 ○様々な種類の音楽に触れ、楽器の音色に親しむ。 ▲音色を感じ取りながら鑑賞することができる。 ○リズムにのって模倣しながら歌ったり身体を動かしたりする。 ▲自分のパートの役割を意識しながら、表現することができる。	・タイミングが分かりやすいよう、視覚的に分かりやすい楽譜を用意する。 ・生徒がイメージをもちやすい楽曲を題材に用いる。 ・動きのパターンを決めるなど、生徒が見通しをもって取り組めるように支援する。	
10	鑑賞 「生演奏」				
11	歌唱・身体表現 「文化祭での歌やダンス」				
12					
1	歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」	15	○旋律をのびやかに歌う。 ▲歌詞を覚えて、旋律の動きを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	・視聴覚教材を活用してイメージをもちやすくする。	
2	「国歌」				
3					

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	3, 4グループ 21名		担当教員	◎田畑（月）清水・木村・木全・久留 （火）唐澤・谷・三谷・根岸 （木）松本・清水・廣本・片峯	
ねらい	(1) 各種の運動の特性に応じた技能を身に付けるようにする。 (2) 自他の運動課題を発見し、解決のため工夫したり、仲間と考えたりする力を養う。 (3) 自主的に運動する態度や健康の保持増進と回復に積極的に取り組む態度を養う。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ保健体育（東洋館出版社）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通 年	体づくり運動	通年	○集団行動・体力を高める運動・体ほぐしの運動・ヨガ ▲体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができる。		・キーワードや位置などを視覚的に示し、主体的に動けるようにする。
4	陸上競技	7	○短距離走 ▲行い方を理解し、基本的な技能を身に付けることができる。		・視覚的にスタートの手順やコース、ゴールの位置などを示す。
5	ダンス 体づくり運動	12	○体育祭の種目 創作ダンス・集団行動 ▲身体の動きを模倣したり表現したりすることができる。		・動画を活用して、動きのイメージをもてるようにする。
6 7 9	体づくり運動 水泳 保健	31	○新体力テスト（走・跳・投に関するテスト） ▲器具を安全に使い、記録を測定することができる。 ○水中歩行、アクアビクス、泳法 ▲楽しさを味わい、行い方を理解することができる。 ○人との距離の取り方 ▲人との距離の取り方について理解することができる。		・ポイントの提示や見本を示し、測定方法を理解しやすくする。 ・水に慣れる活動や浮遊具を取り入れ、不安感を軽減する。 ・映像教材を活用し、イメージがもてるようにする。
10 11	球技 器械運動	20	○キックベースボール ▲ルールを理解し、チームのメンバーと協力してゲームをしている。 ○マット運動・平均台運動 ▲器械、器具を使った運動に進んで取り組むことができる。		・役割分担等を固定し、協力して活動できるようにする。 ・タブレットを活用し、自分の動きを理解しやすくする。
12 1	球技	15	○サッカー ▲勝つためにはどうすればよいか考え、協力して活動している。		・作戦を立てたり、確認したりする時間を多く設定する。
2 3	陸上競技 武道	20	○長距離走 ▲積極的に取り組み、きまりを守ることができる。 ○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼法や基本技の示範の動きを、模倣して動いている。		・記録用紙を活用し、自己記録や目標を意識できるようにする。 ・映像教材を活用し、イメージがもてるようにする。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部		高等部	学年	1年	教科等名	職業
グループ名、人数		4グループ 8名		担当教員	◎清水、山崎	
ねらい		(1) 職業について関心をもち、各進路行事に参加し進路について考える。 (2) 授業や体験を通して自分の強みや弱みを見つける。 (3) 興味の幅を広げ、自己選択する力を身に付ける。				
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための進路学習 (日本教育研究出版)		
月	単元 (題材) 名	指導 時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫	
通 年	挨拶の練習 軽作業 余暇活動 将来設計		○挨拶・自己紹介の練習 ▲自分から挨拶 (礼) ができる。 ○軽作業 (封入・仕分け・折り作業・ラ ベル貼りなど) ○余暇 (絵・音楽・動画・ゲームなど) ▲一定時間落ち着いて過ごす。 ▲軽作業が終わったら報告をする。 ○将来設計について ▲「働く、暮らす、楽しむ、学ぶ」につ いて考えることができる。		・毎回同じ流れで取り組み、 活動に見通しをもてるよ うにする。 ・生徒の実態に応じて課題 の内容や道具を工夫す る。 ・LLブックを使用し、様々 な生活について触れるこ とができるようにする。	
4	オリエンテー ション	4	○進路の流れや内容について聞く。 ▲学習内容の説明を聞くことができる。		・視覚支援教材を用いて見 通しをもてるようにす る。	
5 6 7	進路見学会 事前学習 事後学習	10	○見学会について見通しをもつ。 ○進路先で卒業生の姿を知る。 ▲進路見学会に参加できる。 ○進路見学で取り組んでいた作業内容を 体験してみる。 ▲作業に取り組むことができる。		・視覚支援教材を用いて見 通しをもてるようにす る。	
9 10 11 12	就業体験 事前学習	13	○就業体験先の名前や行く日を知る。 ▲実習の内容等を意識することができる。 ○卒業後の生活を体験する。 ▲就業体験を一緒に行く。 ○自分の好きな作業や得意な作業を見つけ る。 ▲一定時間落ち着いて作業に向かうことが できる。		・視覚支援教材を用いて見 通しがもてるように工夫す る。 ・色々な活動内容を用意す る。 ・ゲストティーチャー	
1 2	先輩の話を聞 く会  自分を知ろう (自己理解)	4	○先輩の話を聞く会 ▲先輩の話を聞く会に参加し、進路につ いて興味をもつ。 ○自分のことを選んでやってみよう。 ▲自分の好きなことを選べる。 ○自分の苦手を知る。 ▲苦手でも配慮がればできる。		・視覚支援教材を用いて見 通しがもてるように工夫す る。 ・興味をもてる教材を用意し、 選択できるようにする。	
3	将来設計を考 えよう。	4	○将来設計を考える。 ▲「働く、暮らす、楽しむ、学ぶ」につ いて考えることができる。		・LLブックを使用し、様々 な生活について触れるこ とができるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	家庭
グループ名、人数		3・4グループ21名		担当教員	◎山本、木全、品川、渡邊、木村、根岸
ねらい		(1) 家庭生活に必要な被服、食物、住まいや暮らし方などに関する基礎的な知識と技能を身に付ける。 (2) 生活の中から問題を見出し、解決策を考え実践する課題解決力を養う。 (3) 家庭生活に必要な簡単なきまりやマナーに気付き、行動する態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	「ひとりだちするための調理学習」(日本教育研究出版)	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	身支度、準備、片付け	通年	○準備、片付け、清掃、ごみ分別 ▲準備、片付け、掃除の手順がわかる。	・被服室と調理室の掃除の手順書を用意する。	
4	被服 オリエンテーション	6	○被服室の使い方のルールを知る。 ○道具の安全な扱いについて知る。 ▲ルールを守り、針やはさみを安全に使用できる。	・手本や写真カードで分かりやすく説明する。	
5	被服 手縫いの基礎 スウェーデン刺繍	7	○基礎縫い 糸通し・玉結び・並縫い。 ▲手本を見て、同様の手順で作業をしようとする事ができる。	・印を付けて針を通す位置を示す。	
6	被服 スウェーデン刺繍	8	○スウェーデン刺繍 ▲目を正しくすくうことや模様刺し等ができる。	・模様は、刺し見本やタブレット端末を使用し、提示する。	
7	被服 家庭の仕事	6	○家庭での仕事を知る。 ▲家での仕事は何があるかイラストや写真から探すことができる。	・選択肢が分かりやすいようイラストや写真で視覚支援を行う。	
9	被服 ミシンの基礎	8	○ミシンの操作を体験する。 ▲縫い始めと終わりにボタンを押して縫い進めることができる。	・文字や写真等で、返し縫いの仕方を提示する。	
10	調理 色々な汁物作り (移動教室に係る料理等)	7	○ガス台の使い方・包丁の扱い方 ▲道具の場所や包丁、ガスコンロの安全な扱いができたか。	・見本や視覚的に分かりやすい手順を示す。 ・レシピアプリ等を使用し、動画や静止画で確認しながら行う。	
11		7	○色々な切り方、計量を行う。 ▲いちょう切り等ができたか。 ▲計量スプーンやカップで、計量することができたか。		
12		5			
1	消費者教育	5	○色々な購入方法や購入先を知る。 ○チラシを見て、物の値段を知る。 ▲興味をもって活動できたか。	・タブレット端末を使用し、アプリの使用や動画等で提示する。	
2	調理(食育) いろいろな食文化	5	○健康的な食生活について考える。 ▲栄養やバランス良く食べることを知る。	・視覚的に分かりやすい教材を使って理解を促す。	
3	被服 衣類の手入れ	6	○洗濯の方法やアイロンの扱い方を知る。 ▲洗濯機や手洗いで洗濯ができる。 ▲安全にアイロンがけができる。	・実際に洗濯機や洗濯板、アイロンを使って理解を促す。	

令和8年度 東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	特別活動
グループ名、人数	学年全体 80名		担当教員	学年教員	
ねらい	(1) 自分達で考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	高等部の生活を楽しもう	6	○学年オリエンテーション ○学級目標決め ○個人目標決め ○係活動決め ▲1年の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択する。	・それぞれの生徒の障害の特性や発達の状況に合わせて理解できるように教材を工夫する。 例) 視聴覚機器を使用したプレゼンテーション	
5 6 9	学級で活動しよう	17	○学級活動(各行事を知り、事前準備や事後の反省を行う) ▲活動に見通しをもてる。 ▲自分の意志や意見を持つ。 ▲協力して活動する。	・視覚教材を利用し活動内容を理解させ、活動に対して意見を出しやすいようにする。 ・選択肢を示し意見を出しやすくする。	
7	防災について考え、防災訓練をしよう	2	○災害についてそれらに関連した事象について知り、防災に対する意識を高める。 ○避難訓練、消火訓練に参加する。 ▲避難経路を知り、消火訓練等の体験ができる。	・視覚教材を利用し、選択肢を示し理解しやすくする。	
10 11 12 1 2	学年集会をしよう	8	○学年集会の内容についての話し合い。 ○学年集会の準備・進行 ▲活動内容を考えられる。 ▲意見をまとめることができる。 ▲自分の役割をはたす。	・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な取組になるよう促す。	
3	1年生のまとめ	2	○学級目標や個人目標、係活動反省 ▲自分について振り返る。 ▲他者の良い点に気付き尊重する。	・自己評価、他者評価ができるよう理解しやすい教材を工夫する。	



令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数		普通学級 77名		担当教員	普通学級担任
ねらい		(1) 行事の準備を通して内容を知り、意欲や目標をもって主体的に活動する。 (2) 教室をきれいにするとともに安全な教室環境を整える。 (3) 季節行事に係る活動を通し、日本や外国の文化に触れる。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	季節行事の学習や生活の中の様々な活動体験	通年	○校外や地域の自然の変化に触れ、季節を感じる。 ▲四季の変化や特徴の気づき、活動する。 ○季節の制作物 ▲活動に興味や期待感をもつ。 ○教室環境の清掃、環境整備 ▲整理整頓ができたか。	・季節に合わせた活動を工夫する。 ・活動を通して自然の変化に気付くことができるよう一人一台端末を活用する。 ・一人一人に適した道具を使用する。	
4	学校生活に慣れよう	4	○授業内容や行事について知る。 ▲説明にそって必要事項を記入する。	・各自のしおりに記入する。	
5	体育祭を成功させよう	6	○体育祭事前・事後学習 ▲田無の体育祭を知り、自分たちの活動を理解する。 ▲体育祭の準備などを通して、協力しながら主体的に活動する。	・以前の映像等の視覚教材を使用して、活動のイメージがもてるようにする。 ・自分でできることを考えて目標を立てさせる。	
6 7	世界の国を知ろう 掃除道具の使い方	7	○外国の行事や文化に触れる(ALTによる学習) ▲外国人講師と交流することができる。 ○掃除道具の使い方に慣れよう。 ▲道具を安全に正しく使う。	・興味関心のある題材をとりあげる。 ・家庭と連携する。	
9 10	移動教室に行こう	5	○活動場所や内容を知る。 ○係活動に協力して取り組む。 ▲自分の役割を理解し、主体的に活動する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解できるようにする。	
11 12	文化祭を成功させよう	7	○文化祭の事前・事後学習 ○劇において、演技や台詞で表現する。 ▲自分の役割を意識して表現し、周りと協力して活動できる。 ▲友達と協力して作り上げる喜びや達成感を味わう。	・得意なことを活かした役割や活動に取り組む。 ・皆で協力して一つのものを作り上げることの意義を説明する。	
1 2 3	校外学習に行こう 卒業式に向けて	6	○校外学習の事前・事後学習 ▲自分の係を意識して活動できる。 ▲マナーやルールを守って参加できる。 ○3年生を送る会、卒業式 ▲見通しをもって儀式に参加する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解しやすくする。 ・儀式に参加する意義を説明する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数		80名		担当教員	1年生教員
ねらい		(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
年間授業時数		35単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	2	○活動内容を知り、学習する課題を決めるきっかけとする。	・活動紹介スライドを写し、簡単に説明した後、希望アンケートをとる。	
5	以下の4グループに分かれて選択活動を行う。  ・情報  ・スポーツ  ・芸術  ・日本と世界	2	<b>【すべてのグループ】</b> ○ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
6		4	○情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化について調べる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
7		3	○生活に身近な情報の入手方法を調べたり発表したりする。		
9		3	○ボール等を使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
10		4	○美術や音楽などの芸術作品について調べる、表現する。	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
11		4	○日本と海外の伝統文化や祭りを調べたり、体験したりする。	・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
12		3	○昔の遊びや海外の遊びなどを体験する。		
1		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
2		4	▲問題意識あるいは興味・関心をもち、情報を整理し、発表することができたか。		
3		3	▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班 11名		担当教員	○作山、久留、山本、西尾、帖佐	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体の使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 作業で働くことの楽しさ、頑張る経験を通して、仕事に対する意欲を高め、仲間と協力できる力を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	(重重) 175 単位時間		使用教科書	なし
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
通年	出席確認、挨拶、返事、報告、準備、片付け、清掃		○挨拶、作業前後の準備等 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。		・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・報告は、手を挙げる、機器を活用するなどし、自ら表出できるようにする。 ・文字や写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	紙工作業 （製品作り、材料作りにおける工程） 軽作業 シュレッダー  リサイクル作業（ペットボトルキャップ）  文化祭に向けた製品作成	245	○パルプちぎり、ラミネートはがし、紙ほし、ミキサーがけ、計量、袋詰め、封入、紙折り等 ▲ラミネートはがし、紙干し、パルプちぎり、袋詰め、計量等の工程を継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、仕分けなど、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーや、袋詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。 ○洗浄、裁断、成型、アイロン、穴あけレジン塗、UV レジンランプによる硬化等 ▲作業工程や材料・道具の扱い方を理解し、安全に配慮しながら手順に沿って作業を行うことができる。 ▲自分の役割を理解し、作業に取り組むとともに協力して最後までやり通そうとする姿勢。 ○1年間の振り返り ▲1年間の活動を振り返り、自ら行った工程がわかる。		・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。 ・生徒が行いやすい自助具を取り入れる。 ・生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせて、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせ、作業の量や時間、行程内容を調整する。 ・工程の画像などを提示する。 ・生徒の実態に合わせて道具や運搬方法を工夫する。 ・短時間で繰り返しできる活動内容を提示する。 ・作業内容を選べる環境を設定する。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班 13名	担当教員	◎谷、島井、三谷、山崎、星野	
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4 5	・オリエンテーション ・クラフト班の仕事を知る。	24	○報告・連絡・相談 ▲適切な挨拶報告ができる。 ○ラジオ体操やストレッチ ▲安全のために体の状態を整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。		・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・挨拶、報告の練習時間を設ける。
6 7 8 9 10 11	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	76	○作業準備と片付け○木材加工切断 ○やすりがけ○組立○仕込み・塗装・仕上げ○アイロン○ミシン○レザークラフト○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲適切な挨拶・報告・連絡・相談・質問ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。		・視覚的に分かりやすく示す。 ・毎時間の作業量の目安や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分の力で作業を行えるようにする。
	・インターシップ	30	○挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行う、時間を守る、準備や片付けを積極的に行う等、就労に適した態度・言葉遣い等ができたか自己評価し、これからの課題の整理を行う。		・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。
11 12  1 2	・文化祭で製品を売る。 ・販売に向けて製品を作る  ・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	20  75	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。		・繰り返し練習し、身に付けられるようにする。
3	1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。		・次年度につながる評価表にする。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	農園芸班 14名		担当教員	◎木村、唐澤、田畑、菅原	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活		○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。	・ロールプレイを行う。 ・視覚教材を用い具体物を見せる。	
4	オリエンテーション	23	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。	・口頭と文章の説明だけでなく、写真やビデオ、具体物を使って分かりやすく説明する。	
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農業の生物の栽培と管理	222	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬等を使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ▲追肥ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。	・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気づけるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 11名		担当教員	◎木全、松本典、渡邊	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活		○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました。」「確認お願いします。」等が言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
4	オリエンテーション	23	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程がわかる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真やビデオを使って分かりやすく説明する。 ・定着するよう繰り返し取り組む。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・ピザ  販売	63	○計量の準備 ▲スケールやタッパー、材料を準備することができる。 ○計量 ▲正確に計量ができる。 ○分割・丸め ▲道具を使って生地を計り分けることができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、慣れるまでは読み上げながら作業する。 ・正確に計量できるように繰り返し練習する。 ・大体の量を視覚的に分かるように見せる。	
9 10	事務 ・領収書 ・カード ・販売 POP 作り ・シール貼り等	55	○ピザの台紙作り ▲自分の分担作業を丁寧に取り組む。 ○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。	
11	進路見学 就業体験 (インターシップ) (1月～2月)	30	○1、2日働くことを体験する。 ▲指示通りに仕事に取り組むことができる。 ▲挨拶・報告・相談ができる。	/	
12 1 2	調理 (製品作り) ・ピザ ・チョコチップパン ・食パン ・フォカッチャ販売	54	○成型 ▲パンの種類に応じた成型ができる。 ○袋詰め ▲きれいにパンを袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭の判断ができる。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。	・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・パンに応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて次年度の意欲につなげる。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部		高等部	学年	1年	教科等名	作業学習 清掃班
グループ名、人数		清掃班 14名		担当教員	◎品川 日下 廣本	
ねらい		(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫	
通年	職業生活 (職業生活に必要な思考力、判断力、表現力)	毎時 20分	○身だしなみ、服装 ○挨拶、片づけ、清掃 ○作業の内容の確認、授業の成果と課題付け ▲作業学習のねらい、個人の目標、学習の流れを把握している。		・提示された指示書を確認する。 ・作業日誌にねらいや目標を記入できる欄を設け、毎時確認できるようにする。	
4	清掃資機材基礎練習 清掃技能基礎練習 校内清掃	60	○タオルのたたみ方、絞り方、自在箒、ダスタークロス、クリーナーの使い方を練習する。 ▲正しく資機材を扱いながら教室清掃や廊下清掃ができる。		・練習ボードを使用し、テーブル拭きの基本的な手順や手の動かし方を練習する。 ・タオルの幅を意識して拭けるように机に印をつけるなど視覚支援を行う。	
5	校内清掃 (窓、教室、廊下)					
6	校内清掃 (食堂、教室、廊下、更衣室)	26 水午後	○食堂の床掃き、床拭き、机拭きを行う。 ▲拭き残しや掃き残しをしないように、丁寧に清掃することができる。		・見取り図を作成する。 ・生徒の活動を評価し、個々の課題を明確にしていく。	
7	清掃資機材基礎練習 清掃技能基礎練習 校内清掃	44	○スクイージーの使い方、モップの使い方を練習する。 ▲正しく資機材を扱うことができる。 ▲窓に水滴や汚れが残っていないか点検することができる。 ▲モップのセッティングの仕方、絞り方、拭き方を理解する。		・視覚ボードや作業手順カードを利用するなど視覚支援を行い学習の効率化を図る。 ・濡れタオルと乾拭きタオルの色を分ける。	
9	校内清掃					
10	高1 教室清掃、 ゴミ回収 高1 更衣室清掃 玄関清掃 廊下清掃 校外清掃	34 水午前	○教室のごみ回収や更衣室の清掃を行う。また玄関の窓清掃及び下駄箱清掃に取り組む。 ▲教室出入り際には挨拶することができる。 ▲互いに協力して、回収を分担する。 ▲任されたごみ回収や清掃場所を最後まで責任をもって取り組むことができる。 ○外部受注の仕事に取り組む。 ▲5日間作業に取り組むことができる。		・必要に応じ、その都度、指示内容やルールの理解を確認するように言葉かけを行う。 ・見取り図を作成する。	
11	(学童清掃)					
12	清掃技能検定向け練習 校内清掃 校外清掃 (学童清掃)	17	○検定マニュアル通りに清掃する。 ○校内清掃検定を実施する。 ▲マニュアルに従って、清掃することができる。 ▲制限時間を意識している。		・過去の検定のDVDを見て検定の流れを理解する。 ・DVDを活用しながら繰り返し実践を行う時間を設ける。	
1	校内清掃 食堂、玄関、窓 教室、廊下、更衣室	48	○食堂の床掃き、床拭き、机拭きを行う。 ▲拭き残しや掃き残しをしないように、丁寧に清掃することができる。		・作業工程を分けて、覚えてから次の工程に移るようにする。 ・濡れタオルと乾拭きタオルの色を分ける。	
2	校外清掃 フレンドリー清掃 インターンシップ		○玄関の窓や学童の窓をスクイージーで清掃する。 ▲清掃終了後に報告することができる。 ○インターンシップ先で働く体験をする。 ▲インターンシップに参加できる。		・視覚ボードや作業手順カードを利用する。 ・インターンシップ先の事業所の写真や情報を提示して、見通しをもって参加できるようにする。	
3	清掃まとめ 2年時の清掃	16	○外部指導員や先輩の清掃の様子を見学し、清掃技術の向上を図る。 ▲模範をよく観察し、清掃方法を覚える。		・必要に応じ、その都度、指示内容やルールの理解を確認するように言葉かけを行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	1年	教科等名	作業学習 事務補助班
グループ名、人数		事務補助班 12名	担当教員	◎東、矢島	
ねらい		(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験し、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 「勤労の意義」 「職業」	毎時 20分	○出席確認、挨拶、身だしなみチェック、作業内容、時程の確認、日誌記入、片付け、清掃 ▲ビジネスマナーを意識する。	・自己評価と教員が行う他者評価の結果を基に自ら目標、課題設定ができるようにする。	
4	事務 「事務業務の内容と特徴」	60	○オリエンテーション(挨拶、ルール、目標、仕事内容の確認) ▲作業に必要な機器の簡単な操作ができる。	・作業日誌や目標を記入できる欄を設け毎時確認する。	
5					
6	事務 「事務処理の方法」  (インターシッフ°)	169	○事務トレーニング 1 シュレッダー 2 裏紙作成、押印 3 用紙補充 4 入力業務 5 ポスティング 6 雑誌ひもしぼり 7 テプラ作成 8 ラミネーター 9 印刷 10 リユース 11 メモ帳作成 ▲PCや印刷機などの操作ができる。 ▲受注に対して責任をもって自ら主体的に取り組もうとする。 ▲教員や先輩に教えてもらいながら手順書を手掛かりに工程を理解する。 ▲一人で手順書をもとに時間や効率を意識して工程を進めている。 ▲発注内容に対して、お客様の要望や気持ちを意識して仕上げようとする。	・検品基準を明確にする。	
7					
9					
10					
11					
12					
1					
2					
3					
	事務 「事務処理の方法」	16	○年度末業務 1 クラス表示の作成 2 文具の回収仕分け ▲作業の手順を考え相談しながら取り組める。	・検品基準を明確にする。	